

第71回生 卒業式

3月4日、第71回生41名が岡山赤十字看護専門学校を卒業しました。
新型コロナウイルス感染症拡大により保護者、在校生が列席することができませんでしたが、厳かなよい卒業式でした。



同じ目標を持ち、ひたむきに頑張る仲間の存在により
困難を乗り越えることができました。

新型コロナウイルスの感染状況により臨地実習が困難になった状況でも、先生や実習施設の方々が学内演習や代替案により柔軟に対応してくださり、最大限の学びを続けることができました。

臨地実習では、あらゆる場面で行き詰まった時に道筋を示してくださり、時には「やってみたらいいよ」と背中を押して下さいより良いケアに繋がりました。



一昨年から他県にいる両親の元へ帰省できない状況が続いていましたが、母から激励の手紙が届き、遠く離れていても支えてくれる存在の大切さや大きさを実感しました。いつも暖かく見守り手を差し伸べてくださる多くの方のおかげで今日を迎えることができたことを忘れません。

そして何より学生と関わることを承諾し、学びの場を提供して下さいった多くの患者様へは感謝してもしきれません。様々な環境・状況で療養されている患者様とご家族への関わりを通して、画一的な看護では十分な看護とは言えないこと、あらゆる角度から患者様とご家族を捉えることが大切であることを実感しました。目の前にいる患者様は私たちの経験したことの無い状況に置かれており、患者様の抱える痛みや深い思いを理解しようにも想像の域を出ることは出来ません。しかし、患者様の表情や表現される言葉の意味を汲み取り真の思いを理解しようと努め続けること、汲み取ったものを患者様に表現することで相互作用が働き看護の力はより大きなものとなっていくことを実感しました。



これからも壁にぶつかる時や思い通りにいかない時もあると思いますが、この学び舎で学んだこと、辛い思い出も楽しい思い出も私たちにとってかけがえのない原動力としていきます。（古味那津実 謝辞より抜粋）



